

俳句

初冬

木々朗

時告げし平和の鐘や冬浅し
小春日や銀座のカフェー連れ立ちて
人参の豊かな紅や洋食に
口切や濃茶に続く加賀料理
口切や大寄せ萩の数茶碗

雑詠 霜月 六題

細田 安治

この秋に 汐風憎し 紅いずこ
鱒跳ねし 汽水の乱流 深川に
魚大拳 押し寄せ川鵜 空回り
立冬に 木枯らし足踏み 冬はいつ
紅の 土筆もどきは 吾亦紅
学び舎を どちらが主役 文化祭



清澄庭園

出典：<https://www.gotokyo.org/jp/kanko/koto/spot/40236.html>